



去る一月十九日事務局（遍照寺）にて理事会、檀信徒会役員会を開く。決算事業報告あり平成3年度事業計画に就いて協議し、特

に花まつり、韓国花まつりと仏事団募集、明年度施行予定の東濃仏教徒大会等に就いて協議した。

三月十六日遍照寺会場で

仏教会総会、檀信徒会大会等に就いて協議した。

総会を開き八十九名参加者

役員改選、事業計画を協議

提案通り承認さる。

新仏教会長久翁典雄師

副会長広瀬正支師

事務長山縣弘道師

副会長高橋卓爾氏

小池信義氏

花まつり（第三十九回）

昭和二十八年より毎年の行事の花まつりを、市内宗

泉寺を会場にして、午前九時より各寺院住職総出仕のもと檀信徒会委員、詠歌講

員参列して厳修し、十時よ

り二班に分れ市内外を白象

を積載した車を中心にして

十余台に住職、委員が分乗

し十二ヶ所の幼稚園、保育

園を訪問し園児たちに、法

話と合掌の指導をし、淮仏会贈り午後四時盛会裡に終った。

参加園児一、八二三名

総経費九十八万余円

協賛商店八十八店

明と暗が混じり合う、明るいところでは物が見えるから大小、白黒、老若といつた違いを区別できる。それは「差異」の世界といえるだろう。一方暗いところでは物は見えないから、何も

区別することはできない。それは同一の世界と呼べるであろう。そして「雙々」は「混ざり合う」という意味であるから、この句全体の意味は、同一の中に差異がある、差異の中に同一がある、ということになる。

仏としての性質（仏性）に関する限りでは我々は皆同一であるが、個性についた違いを区別できる。それは「差異」の世界といえるだろう。一方暗いところでは物は見えないから、何も区別することはできない。それは同一の世界と呼べるであろう。そして「雙々」は「混ざり合う」という意味であるから、この句全体の意味は、同一の中に差異がある、差異の中に同一がある、ということになる。

## 「明 暗 雙々」— 禅語と墨跡集より

仏としての性質（仏性）

理解する時、諸内外の人々

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

う

に

よ

</